

読む力は生きる力

～想像力豊かな
読書習慣を～



平成17年8月から県内各地で開催してきた子ども読書サポーター育成研修の一貫として12月6日にアバンセで講演会を行いました。「読む力は生きる力」と題して岡山県のノートルダム清心女子大学教授の脇 明子さんが講演。約200名の参加者からは有意義な話であったと好評を得ました。

講演で脇先生は、現在の子供たちが直面している読書環境への悪影響とその悪影響に対する読書の効果、読書や読み語りが果たしてきた今までの役割などについて話されました。

さらに、子どもへの絵本の読み聞かせや子ども自身が絵本を読むことも大切だが、読書の習慣が絵本までで留まるのではなく、小学校高学年になると絵本から物語への橋渡しを大人がしてあげて、さらに想像力豊かになるように物語の読書習慣を付けていくことが重要だと述べられました。



クリスマス会開く

「サンタも温泉行くの?」



12月22日(木)午後、県立図書館恒例のクリスマス会を開きました。

朝からの大雪にもかかわらず、元気な子どもたちや保護者の皆さんなど約140名の参加がありました。

部屋を暗くしたろうそくの灯りのもとでの素話すばなしや絵本の読み語り、クリスマスにちなんだ絵本の紹介などの後、図書館職員が扮したサンタクロースとの楽しいゲームで会場はにぎわいました。

「サンタにインタビュー」のコーナーでは、子どもたちから「どうしてサンタっていう名前なの?」「サンタも温泉に行きますか?」などたくさんの質問が飛び出し、サンタからの「ヨンタではおかしいから」「たくさんのプレゼントを運び腰が痛いので、よく行くよ」などの迷回答?に場内は大爆笑。また、歌いながらの手遊び、じゃんけんゲームでは、子どもと大人も一緒になって楽しみました。

来場の皆さん全員に、手作りサンタ人形などのプレゼントがサンタから贈られ、最後に、クリスマスツリーの工作をして盛会に終わりました。

